

ラット由来カルモジュリン依存性プロテインキナーゼⅡ、組換え型

Cat. No. NATE-1273

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 セリン・スレオニンタンパク質キナーゼ: これらのキナーゼは、神□伝達物質の放出、刺激誘

発遺伝子発現の制御、および微小管関連タンパク質のリン酸化に関与しているようです。

別名 カルモジュリン依存性プロテインキナーゼII; 9026-43-1

製品情報

種 ラット

由来 S. frugiperda Sf9

形態 100 mM NaCl 、 50 mM HEPES (pH 7.5 25°C) 、 0.1 mM EDTA、 1 mM DTT、 0.01%

Brij 35 および 50% グリセロール。

分子量 見かけ上: **33 kDa** 理論上: **36 kDa**

純度 > SDS-PAGEによって95%決定される

活性 5,000,000 ユニット/mg

濃度 500,000 ユニット/ml

単位定義 1ユニットは、ATP(200mM)からAutocamtide-2(CaMKIIペプチド基質)への1 pmolの

リン酸の転送を触媒するために必要な活性化されたCaMKIIの量として定義され、 $30^{\circ}C$ で1分

間、総反□体積30 μIで行われます。

保管・発送情報

保存方法 -70° Cで。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。